1. 〈基本構想〉

4 自然と共生できるまちづくり									
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値		
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 (過去5年間平均)		5,580人	7,728人	7,314人	5,797人	10,000人(計画期間内平均)		

2. <基本計画および方針と基本施策>

4-1 自然環境の保全と共生

(1)【豊かな自然と共生する社会づくりの推進】

- 〇地域や企業、関係団体などと協働しながら、良好な生活環境の維持と身近な自然環境の保全・再生を図ります。
- ○マイクロプラスチック対策を含めた海洋環境の保全に向けて、関係機関と連携した河川や海岸への漂着ごみの回収・処理の推進や美 化意識の向上を図ります。
- ○森と里山の保全や外来生物駆除などを通した水辺環境の再生を行い、生物多様性の確保や緑豊かなまちづくりを推進します。 ○豊かな自然環境を活かしたグリーンツーリズムやエコツーリズムなど世代間・都市間のふれあい体験・交流活動などを進め、自然と 共生できるまちづくりを推進します。

(2)【環境について自ら考え行動できる人づくりの推進】

- ○環境講座や環境教室を開催し、環境モラルや環境保全、地球規模の気候変動等に対する意識の向上を図ります。
- ○環境保全活動の推進のため、地域や環境団体との連携を強化し人材の育成を図ります。

(3) 【地球温暖化対策の推進】

- 〇再生可能エネルギーの導入拡大、公共交通機関や自転車の利用などによって、環境に配慮した低炭素社会の実現を目指します。

- ○家庭や職場での省エネルギー対策、エコ活動の普及・啓発を図ります。 ○チップ生産拠点をもつ事業者などと連携し、木質バイオマスの普及や熱利用の促進を図ります。 ○坂井市脱炭素ロードマップに掲げる温室効果ガス削減目標の達成・ゼロカーボンシティの実現を目指します。

重要業績評価指標(KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和	4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
環境講座開催 学校数・回数	7 回 (平成30年度)	1	5校 10回		校 6回	6校 12回	4校 8回	8回 (令和6年度)
ストップ地球温暖化授業受講者	〇人 (令和3年度)		-	17	人O	247人	223人	630人 (令和6年度)
	7.エネルギー	・をみんなにそ	してクリーン	に	9.産業	と技術革新の)基盤をつくろ	う
関連性の高いSDGsの17目標	13.気候変動に具体的な対策を 1			14.海の豊かさを守ろう				
	15.陸の豊かさも守ろう						•	

3 / 目休的な事業とその実績>

0. \	は				
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	海岸漂着物地域対策推進事業	水辺環境と生態系の保全につなげるため、流域の関係自治体 ランティア等と協力して九頭竜川河口部や海岸に漂着したこ り組みます。		環境推進課	貢献している
(1)		主な取り組み実績	予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	河川クリーンキャンペーンや九頭電住民、ボランティア団体等それぞれを図りました。また、身近な環境修棄防止を啓発しました。	972	457	継続	
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
(4)	環境保全事務事業	市環境基本条例に基づく、基本的かつ重要な案件や本市に設ている再生可能エネルギー等による影響について環境審議会す。		環境推進課	貢献している
(1) -2		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性	
		案のあった「子どもとつくる環境を守る条例(案)」を契機 域や循環型社会、脱炭素社会の実現を目指した「坂井市ごみ 審議会を4回開催し審議しました。	591	591	継続
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	環境美化事業	豊かな自然のシンボルであるコウノトリが生息できる自然環 引き継ぐため、市民、事業者及び行政が協働し、地域や河川 行います。		環境推進課	貢献している
		主な取り組み実績	予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
-3	117地区1,333名が参加して市内 境美化の意識が保たれていることだの向上を図りました。 また、行政区が主体的に行う地域の	31地区5,797人、3月の河川クリーンキャンペーンは、 一斉に清掃活動を行いました。両キャンペーンとも市民の環から、今後も継続して市民に呼びかけ、地域美化保全の意識 の美化活動等への取り組みを推進するために、行政区に対し の良好な生活環境の保全と持続に貢献しました。	9,210	8,945	継続

No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	環境共生事業	環境基本計画の推進のため、環境保全団体の活動支援、環境を実施し、市民の環境に対する意識向上と保全活動の広がり発を行います。特に、環境教育講座では、子ども達の地球温SDGsに対する意識の醸成を図る事業を行います。	につながる啓	環境推進課	貢献している
		主な取り組み実績	予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	市内小学校4年生を対象に「我が家意識の醸成を図りました(666名/トップ地球温暖化対策授業」を春記る中学生を対象とした環境教育授業対象の親子環境施設見学ツアー(2催し、ごみ減量やリサイクルの意識	4,614	4,412	拡充	
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
	地球温暖化防止対策事業	坂井市脱炭素ロードマップの方向性に基づき、市の地域特性可能エネルギーの導入を推進することで、エネルギーの地産室効果ガス排出量の削減を図ります。併せて、2050年ゼロティの実現に向け、市民・事業者・行政が一体となり地域脱る体制を整えます。	地消並びに温 カーボンシ	環境推進課	貢献している
		主な取り組み実績	予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	庁内にゼロカーボン推進本部を立た 局横断的に脱炭素ロードマップに基 ゼロカーボン市民ワークショップや に、市民が自発的に考え脱炭素に関 市と市内事業者等19社が、それで、ゼロカーボンシティの実現に向 しました。また、公共施設の照明し リークレジットに関する連携協定を終 市民の住宅20件への太陽光・蓄電 及、CO2排出量削減を図りました。	13,976	12,904	拡充	

4. 〈基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて) >

(1)【豊かな自然と共生する社会づくりの推進】

6月のクリーンキャンペーン、11月の九頭竜川河口部清掃活動、3月の河川クリーンキャンペーンは、市、地域住民、ボランティア団体等それぞれが主体となって実施する環境美化活動として根付きつつあり、河川や海岸を含む地域の環境 美化意識の醸成及びポイ捨てや不法投棄防止の啓発を行ってきました。クリーンキャンペーンの参加者数は目標を 10.000人として、地域の自主性を尊重しつつも、市から積極的な呼びかけが課題であると考えております。

市内小・中学校で地球温暖化やゴミ問題など環境教育を積極的に取り組んでいる中、子どもたちから提案のあった「子どもとつくる環境を守る条例(案)」を契機に環境審議会で審議してきた「坂井市ごみに関する条例(案)」策定に向けて 継続して審議してまいります。引き続き、市民・事業者・行政が連携協力する環境美化活動を実施し、相乗的な環境美化 意識の向上を図ってまいります。

(2) 【環境について自ら考え行動できる人づくりの推進】

寄附市民参画制度を活用した「ストップ地球温暖化対策授業」では、春江地区の小学校4校で授業を実施し、児童たち の地球温暖化対策に取組む力と意欲を高めることができました。引き続き、令和7年度に坂井地区の小学校で授業を実施

するとともに、中学校での環境教育授業を新たに実施してまいります。 また、こどもエコひろば、夏休みの親子環境施設見学ツアーや我が家のプラごみゼロ宣言など、体験・実践しながら環境の保全や共生について学ぶイベントを実施しました。今後も、学校等での学習(座学)や現地での体験学習(フィール ドワーク)を通して、身近な環境から地球規模の気候変動まで関心を持って行動していく人づくりを推進してまいりま

現状と課題 および展開

(3) 【地球温暖化対策の推進】

坂井市脱炭素ロードマップの策定により、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度との比較で50%削減する ことを中間目標とし、2050年までに脱炭素を達成することを最終目標としていることから、今後は、市民・事業者・行政が相互に連携協力しながら積極的に脱炭素に繋がる取り組みを進めてまいります。 ゼロカーボン市民ワークショップを引き続き実施するとともに、基調講演やパネルディスカッションを行う環境シンポ

ジウムを開催し、温室効果ガス排出量削減の意識向上を図ってまいります。

ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定を締結した市内事業所や、市内中小事業所などを含めた官民連携組 織、ゼロカーボンさかいコンソーシアムの設置を図り、脱炭素化を積極的に推進してまいります。

公共施設等については、空調設備入替や照明LED化等により省エネルギー化について部局横断的に検討してまいりました。次年度以降、施設の照明LED化を全庁的・計画的に実施していき、エネルギー消費量の更なる抑制に取り組んで

まいります。また、J-クレジット制度を活用し、環境価値から財源確保を図ってまいります。 市民を対象とした太陽光・蓄電池設備など再生可能エネルギーの導入を推進し20件9,325千円を補助しました。あわせて、県のふくecoアプリや「デコ活」などを周知・活用しながら、温室効果ガス排出量削減の意識向上を図ってまいり ます。

1 〈基本構想〉

4 自然と共生できるまちづくり									
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値		
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 (過去5年間平均)		5,580人	7,728人	7,314人	5,797人	10,000人(計画期間内平均)		

2. <基本計画および方針と基本施策>

4-2 循環型社会の構築

(1)【ごみの減量化及び再資源化の推進】

- 〇資源ごみ分別収集や民間の力を活用し、3R(※5)活動の推進を図りながら循環型社会の実現に努めます。
- ○食品ロスの削減をはじめとしたごみの減量化に向けて、市民や企業に普及啓発を行い、意識の向上を図ります。 ○外国籍の市民を含め、分かりやすいごみの分別方法を周知します。
- 〇身近な地域での資源ごみ収集の定着化を図るため、より効率的で負担の少ない収集体制づくりを進め、衛生的で環境に優しいきれい なまちを目指します。
- 〇広域で運営している廃棄物処理施設やし尿処理施設など安定的な運営が図れるよう長寿命化に向けた施設の適正管理と処理能力確保 に努めます。

(2)【不適正処理の防止】

- ○不法投棄の早期発見や早期撤去に向け、パトロールや監視に取り組みます。
- 〇適正なごみの排出、3R意識の向上など、ごみに関する意識の醸成を図ります。

	重要業績評価指標(KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
	1人1日あたりのごみ排出量	875g (平成30年度)	844g	825g	828g	793g	776g	808g (令和6年度末)	
問	連性の高いSDGsの17目標	6.安全な水とトイレを世界中に			9.産業	9.産業と技術革新の基盤をつくろう			
因	度にい同VISDGS0717日標	12.つくる責任つかう責任							

2/目体的が重要とその宝繕へ

J. \ =	具体的な事業とての美績 >										
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度						
	一般廃棄物収集処理事業(効率的 で負担の少ない収集体制の推進)	改定した一般廃棄物処理基本計画の方向性に基づき、ごみ減体制の改善に向けた取り組みを実施します。	遺および収集	環境推進課	貢献している						
		主な取り組み実績	予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性						
①-1	第二次坂井市一般廃棄物処理基本言排出量予測との乖離、ごみ資源化がしについて、ごみに関する市民ワー等推進審議会に諮問し、3回の審請また、一般廃棄物の収集処理事業にる中で、集落ごみステーションの認別回収により、地域の環境美化に取	1,154,124	継続								
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度						
	一般廃棄物収集処理事業(廃棄物 の適正処理の推進)	パトロールや看板設置などを行い不法投棄の早期発見や防止す。また、一般廃棄物の適正な分別、収集・運搬、処分等にの向上を図るとともに、3Rの推進を図ります。		環境推進課	貢献している						
2 -1		主な取り組み実績	予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性						
-	一般廃棄物の適正な分別、収集・選手ュース(廃棄物の発生抑制)、リ										

4. 〈基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)〉

(1)【ごみの減量化及び再資源化の推進】

自己責任によるごみの分別を促すことにより、ごみの減量やリサイクル率の向上を図ります(集落ごみステーション設置補助数は20地区23件)。また、特別集積地における事業所の取り扱いについて、民間収集業者との相対契約による収集に切り替えを目指すことで、コスト削減を図っていきます。

現状と課題 および展開

(2)【不適正処理の防止】

廃棄物の発生・排出抑制、再資源化を図るとともに、適正処理を実施していきます。

1 〈基本構想〉

4 自然と共生できるまちづくり									
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値		
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 (過去5年間平均)		5,580人	7,728人	7,314人	5,797人	10,000人(計画期間內平均)		

2. <基本計画および方針と基本施策>

4-3 生活環境の保全と充実

(1)【公害防止対策の推進】

- 〇公害の発生のおそれがある施設や企業に対し、公害防止協定の締結とともに、規制や基準の徹底、適正な管理、改善指導などを行い ます。
- ○ダイオキシン類や農薬などに含まれる有害化学物質の発生抑制に努めます。
- OPM2.5、光化学スモッグなど公害に関する情報については、速やかに注意喚起を行います。
- (2) 【良好な生活環境の維持・保全】
- ○騒音・悪臭・振動など感覚公害の発生防止に取り組み、健全な生活環境の確保を図ります。
- 〇各種法令に基づき、野外でのごみの焼却などの苦情に適切に対応するとともに、指導を徹底します。

重要業績評価指標(KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和∠	4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
条例等で定められた規制値の超過企業 数	4件 (平成30年度)	3件	8件	2	件	3件	3件	〇件 (令和6年度末)
関連性の高いSDGsの17目標	3.すべての人に健康と福祉を				6.安全な水とトイレを世界中に			
関連性の同いODGSの17日標	11.住み続けられるまちづくりを							

3. <具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度			
(1)	公害対策事業(公害の未然防 止))	公害の未然防止と市民が健康で安全かつ快適な生活を営むこ 境を確保するために、大気や水質等の調査分析、協定事業所 目を定期的、継続的に調査分析を実施し、必要に応じて指導 行います。	等との協定項	環境推進課	貢献している			
-1		主な取り組み実績 予算(千円)						
	河川水質、工場排水、地下水、ダイ等の調査分析、協定事業所等との協の未然防止と市民の健康で安全かご	6,964	継続					
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度			
(2)	公害対策事業(健全な生活環境の 確保)	自然環境、生活環境の保全を図るため、大気汚染常時監視、水・工場排水の水質測定及び工場排出悪臭物質測定などを実応じて指導などの対応を行います。	河川水・地下 発施し、必要に	環境推進課	貢献している			
-1		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性				
	大気、ばい煙、工場排水、河川水、 により、自然環境・生活環境の保全	8,346	6,964	継続				

4. 〈基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)〉

(1)【公害防止対策の推進】

公害を未然に防ぐために、公害防止協定に基づき大気や水質等の調査分析を継続的に行っていますが、特に水質に関する 基準値の超過が3件発生したことから、事業者へ管理の徹底を促しました。引き続き監視や調査分析及び改善指導を行っ ていきます。

現状と課題 および展開

(2)【良好な生活環境の維持・保全】

生活環境の保全を確保するために、苦情者や原因者から十分な話を聴取し、調整を図っていきます。

1. 〈基本構想〉

4 自然と共生できるまちづくり									
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値		
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 (過去5年間平均)		5,580人	7,728人	7,314人	5,797人	10,000人(計画期間内平均)		

2. <基本計画および方針と基本施策>

4-4 美しい景観資源の活用

(1)【ふるさとを感じられる景観の継承】

○歴史的な街並みの保全を図るため、三国湊地区、丸岡城周辺地区の地域の景観特性と調和した景観をきめ細かく誘導し、良好な景観

の保全と創出に向けた取り組みを推進します。 〇坂井平野に広がる田園風景は、"坂井市らしさ"の根幹をなす景観であり、優良農地の適切な管理、景観に配慮した農業用施設の整 備に努め、いつまでも変わらないふるさとの景観を次世代に引き継いでいきます。

(2)【未来につながる美しい景観の創造】 〇関係法令に基づく諸制度を活用し、市街地の良好な街並みの整備を図ります。 〇ゆとりと潤いを感じることができる生活環境を創出するため、自然環境や歴史、文化などの受け継いできた地域資源を活かしつつ、 市民、企業、行政が一体となって魅力ある景観の創造を図ります。

重要業績評価指標(KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
景観まちづくり事業補助事業活用件数	3件 (平成30年度)	4件	3件	1件	1件	3件	11件 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	11.住み続け	られるまちづ	くりを				

3 < 具体的な事業とその実績>

0. \	3.く具体的は事業とその実績と					
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度	
(1) -1	景観まちづくり事業(屋外広告物の適正な管理) 「美しいふるさと坂井」への実現に向け、景観計画と併せて屋外広告物等の適正な規制・誘導を図ります。		都市計画課	貢献している		
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性	
	福井県屋外広告物条例に基づいて適切に指導および許可事務を行いました。全部で321件の許可を行い、そのうち既存不適格広告物については36件の是正を行いました。 令和2年度から令和6年度までの実績合計件数として、1,352件の許可と152件の是正を行いました。		0	継続		
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度	
(2)	景観まちづくり事業(特定景観区 特定景観計画区域において景観に配慮した建築物に対し補助し、今後にお 域等における修景事業の促進) いても景観向上を誘導していきます。		都市計画課	貢献している		
	主な取り組み実績 予算(千円)		決算(千円)	今後の方向性		
	都市計画情報の問い合わせの際、補助金の対象区域については補助制度の説明を行い制度の周知を行いました。また、建築確認申請の内容照会の際にも対象区域の場合は補助制度を活用した修景を促すなど、特定景観計画区域において、建築物の修景を推進し、景観の向上に努めました。補助金の活用件数は、特定景観計画区域内では三国地区1件、丸岡地区0件の計1件、特定景観計画区域外では2件、全部で3件でした。令和2年度から令和6年度までの実績合計件数として、三国地区6件、丸岡地区1件、特定景観計画区域外6件の全部で13件でした。		3,307	継続		
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度	
(2) -2	サイン整備事業	サイン整備事業 市としての一体感を高めるとともに来訪者の利便性向上を図るため、公共 サインの充実と統一のある整備を進めます。		企画政策課	貢献している	
	主な取り組み実績 予算(千円		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性	
	坂井市サイン整備計画に定められたサイン整備について、計画的に保守点検作業に努めました。		1,500	1,408	継続	

4. 〈基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)〉

(1)【ふるさとを感じられる景観の継承】

(都市計画課)

特定景観計画区域内における修景補助について、三国地区で1件の活用がありました。一方で対象となりそうな物件については補助金を活用した修景を呼び掛けているものの、住民の景観に対する意識やニーズが市の景観基準とマッチしていないこともあり、補助制度を利用してもらえない事例もありました。特定景観計画区域内の住民の景観に対する意識をどう高めていくかが課題となっています。

今後も、これまで以上に修景補助制度についての周知を行うとともに、特定景観計画区域内の地域住民の景観に対する 意識を向上させるため、市の景観行政についても周知していけるような方法を検討します。

現状と課題および展開

(2) 【未来につながる美しい景観の創造】

(都市計画課)

美しい景観は、市民の心の安らぎやゆとりをもたらすばかりでなく、訪れる人の心にも美しい坂井市を印象付けることになることから、近隣市町と連携して美しい景観のPR映像の発信を行いました。

今後も、ふるさとへの誇りと愛着を醸成するとともに、観光振興にも寄与する貴重な地域資源として、PRを継続して行い、景観を活かした魅力あるまちづくりを進める必要があります。

(企画政策課)

サイン整備については令和2年度に完了し、デザインが統一されたことで市としての一体感を高めることができました。一方でサイン台帳の整備は令和7年度の完了に向けて引き続き取り組んでいく必要があります。また、各所管課に対しサインの管理状況に関する共通認識を高め、毎年の保守点検を計画的に行いながら、文化・観光資源等の利便性と景観の向上を目指します。